



# NEWS RELEASE

2007年11月21日

株式会社日立ディスプレイズ

## 多分野で使用できる汎用中型 IPS 液晶モジュール 5 機種を開発 中型液晶のラインナップを大幅に拡充し新分野を開拓

株式会社日立ディスプレイズ(取締役社長:井本義之/以下、日立ディスプレイズ)は、高画質、広視野角、高コントラストを特長とする IPS 技術を採用した、産業用途をはじめとする多分野で使用できる汎用中型 IPS 液晶モジュール 5 機種を開発し、中型液晶のラインナップを大幅に拡充しました。本開発品は、2007年11月から順次サンプル出荷を開始します。

現在、液晶パネルは、テレビや携帯電話をはじめとするコンシューマ用途に加えて、自動販売機やキャッシュディスプレイ、医療機器といった産業用途など、多分野に用途が広がっています。このような中で、液晶画面を正面からだけでなく、斜めからも見る場合が増加していますが、従来の TN 液晶では、斜めから見た場合に画像のコントラストや色合いなどが変化してしまうため、広視野角の IPS 液晶に対する需要が高まっていました。

日立ディスプレイズでは、携帯電話やデジタルカメラ、プリンターなどに続く新分野として、2006年度以降本格的に産業用途の開拓を進めていますが、中型 IPS 液晶については、これまで1機種だけの製品展開となっていました。このたび、産業用途における IPS 液晶への需要の高まりを受けて、超広視野角・高コントラストを特長とする汎用中型 IPS 液晶モジュール 5 機種を開発し、中型液晶のラインナップを大幅に拡充しました。本開発品により、産業用途をはじめとする新分野の開拓を進め、事業拡大を図ります。

### 中型 IPS 液晶ラインナップ

サイズ	サンプル出荷開始時期	主用途
対角 23cm(9 型)WVGA	2006 年(既製品)	ポータブル DVD プレーヤー、ポータブルテレビ、情報端末
対角 31cm(12 型)WVGA	2007 年 11 月	ポータブル DVD プレーヤー、ポータブルテレビ、情報端末
対角 43cm(17 型)WXGA	2007 年 12 月	ポータブルテレビ(浴室用含)、放送用モニター、制御機器モニター
対角 26cm(10.4 型)SVGA	2008 年 3 月末(予定)	制御機器モニター、FA/計測器、KIOSK 端末、医療端末
対角 31cm(12.1 型)SVGA	2008 年 3 月末(予定)	制御機器モニター、FA/計測器、KIOSK 端末、医療端末
対角 43cm(17 型)SXGA	2007 年 11 月	制御機器モニター、医療端末

## 本開発品の主な仕様

サイズ	アスペクト比	表示サイズ	表示画素数	画素ピッチ	表示色数	視野角 (CR>10)	色再現性 対 NTSC 比	輝度	コントラスト比
12 型 WVGA	15 : 9	262mm × 157mm	800RGB(水平) × 480(垂直)	0.327mm × 0.327mm	1,677 万 7,216 色	上下左右 170° 以上	72%	300 cd/m <sup>2</sup>	500 : 1
17 型 WXGA	15 : 9	370mm × 222mm	1280RGB(水平) × 768(垂直)	0.289mm × 0.289mm	1,677 万 7,216 色	上下左右 170° 以上	60%	350 cd/m <sup>2</sup>	800 : 1
10.4 型 SVGA	4 : 3	211mm × 158mm	800RGB(水平) × 600(垂直)	0.264mm × 0.264mm	1,677 万 7,216 色	上下左右 170° 以上	60%	350 cd/m <sup>2</sup>	500 : 1
12.1 型 SVGA*	4 : 3	246mm × 185mm	800RGB(水平) × 600(垂直)	0.308mm × 0.308mm	1,677 万 7,216 色	上下左右 170° 以上	60%	350 cd/m <sup>2</sup>	800 : 1
17 型 SXGA	5 : 4	338mm × 270mm	1280RGB(水平) × 1024(垂直)	0.264mm × 0.264mm	1,677 万 7,216 色	上下左右 170° 以上	72%	270 cd/m <sup>2</sup>	1000 : 1

\* 10.4 型 12.1 型 SVGA の仕様は暫定値であり、サンプル出荷開始時の仕様とは異なる可能性があります。

## IPS 技術とは

IPS 技術は、TN 方式などの通常の TFT 液晶とは動作が異なる、In-Plane-Switching(横電界)方式の TFT 液晶技術です。株式会社日立製作所が 1995 年に発表し、1996 年に実用化しました。その後、Super-IPS、Advanced-Super IPS、IPS-Pro と進化しています。本技術は、液晶分子が横電解によって TFT 基板に平行な面で回転するもので、その分子の動きがシンプルなため、視野角や色再現性、中間調での応答速度などに優れた性能をもっています。

日立ディスプレイズでは、高画質化への期待にこたえる技術は、「IPS 液晶」が最適であると考え、テレビ用だけではなく、デジタル一眼レフカメラ用や携帯電話用に展開してきました。IPS 技術により、見る角度でコントラストや色調が変化するという液晶の視野角問題を、視野角補償フィルムなしで大幅に改善することができ、「斜めから見ても美しい」画像を再現できます。IPS 技術内容は、下記をご参照ください。

<http://www.hitachi-displays.com/>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---